（別添資料１）

事業所名　アミコ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日　2025 年　1 月　24 日

法人（事業所）理念	すべての子どもたちの笑顔のために	
支援方針	子どもが興味を持った遊びから得られる「楽しい！」と思う気持ちを大切に、子ども自身が意欲を持てるように関わり、心と体の成長発達を促す。	
営業時間	9 時　30 分から　17 時　30 分まで	送迎実施の有無　（あり）　なし
	支　援　内　容	
本人支援　健康・生活	・健康状態の把握、個人の特性を理解した上で、支援ができるようにする。 ・就学に向けて必要な生活スキルの向上を目指し、支援する。 ・身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でしようとする。	
本人支援　運動・感覚	・運動遊びや製作などを通して、全身の粗大運動やボディイメージの形成、バランス、道具の使用や巧緻動作の発達を促す。 ・感覚遊びを通して感覚の特性に応じたニーズに応え、感覚の調整・統合を行っていく。 ・適切な感覚の入力や身体を動かす楽しさを味わう。	
本人支援　認知・行動	・実体験を通して、様々な状況やものの認知・理解を広げていく。また絵カード、絵本、プリントなどの道具も使用し、視覚、聴覚、触覚などの情報も使い認知・理解を促す。 ・遊びの中で位置感覚や、距離感など空間的認知ができるような遊びを行う。 ・様々な音、色、形、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりすることでものの理解を深める。	
本人支援　言語コミュニケーション	・自分の気持ちを言語で表現する事の楽しさを味わう。 ・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、他者と心を通わせる喜びを感じる。 ・職員と一緒に見立て遊びや、つもり遊び、ごっこ遊びなどをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。	
本人支援　人間関係社会性	・安心できる職員との関係の下で、身近な大人や他利用者に関心を持ち、模倣して遊んだり、自ら関わろうとする機会を大切にして支援する。 ・協同遊びを通して、ルールを守ることや、徐々に社会性の発達を支援する。SSTなどでロールプレイや寸劇を見て、相手の気持ちや自分の気持ちについて考える機会をもつ。 ・自立に向けて、自分のことは自分で取組む機会を増やし、一人でできた喜びを感じられるようにする。状況に応じた気持ちのコントロールができるよう支援する。	
家族支援	・事業所にて個別の面談を定期的に行い、保護者と共通認識を持ちながら支援に取り組む。 ・保護者交流会を行い、他の保護者と交流し、悩みなどを相談したり、助言を聞いたり、情報共有する機会を設ける。 ・相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整を行う。	移行支援　・就学に向けた小学校への情報提供、こども園や他の利用福祉サービスなど関係機関との情報共有等を行い連携を図る。
地域支援・地域連携	・子ども支援連絡会に参加し行政・教育機関・相談支援・他施設と連携を図る。 ・地域の他の障害児通所支援事業所の連絡会等情報共有の場に参加し連携を図る。 ・研修生、福祉体験事業、ボランティア等の受け入れをする。	職員の質の向上　・外部研修へ積極的に参加する。 ・内部研修を実施する。 ・支援前後に職員間でのミーティングを実施し、情報共有する。
主な行事等	併設認定こども園の行事への参加（季節行事や体験行事など）、避難訓練、小学校に送る会など。	